

藍野大学大学院健康科学科 入試における出題意図

1. 健康科学研究科 アドミッションポリシー (AP)

解剖・生理・運動・栄養学、スポーツ科学、認知科学・心理学といった基盤的知識を補強し、大学院での学びを経て、国および地域の現状を理解し、健康寿命延伸に向けた科学的根拠に基づく発展的な問題解決方法の提案を通して健康増進事業の推進に寄与できる人材を養成するにあたり、以下のような素養を持つ学生の入学を期待する。

- 1) 解剖・生理・運動・栄養学、スポーツ科学、認知科学・心理学といった基盤的知識を有しているとともに、学士課程修了レベルに相当する論証能力を有している。
- 2) 国および地域における健康増進事業および健康寿命の延伸に関する問題意識を有している。
- 3) 科学的根拠をもとに、健康寿命延伸に関する研究領域に寄与しようとする姿勢を有している。

2. 入試選考における能力評価

【出題意図】

書類審査：APの2)における健康増進事業および健康寿命延伸に関する問題意識、

APの3)において健康増進事業および健康寿命延伸に関する研究領域に寄与しようという姿勢の有無、および科学的根拠をもとに論証する能力を評価する。

面接審査：書類審査における項目に加え、論理的思考および表出能力（論証能力）を評価する。

小論文・筆記試験：APの1)における基盤的知識、論理的思考
および文書における表出能力を評価する。